

○ JAつべつでは、指定管理者として管理運営している堆肥製造施設において、町内畜産農家の家畜排せつ物を原料にした堆肥を製造し、町内耕種農家へ供給している。

■国内資源の種類

・牛ふん

■肥料の種類・肥料名称

・種類：特殊肥料（堆肥）
・肥料名：牛ふん堆肥

■取組の経緯・内容・成果（見込み）

取組の経緯

・町内の畜産農家では、飼養頭数の増加に伴い、自家圃場への過剰散布、労働負担の増加が課題となっていた。平成13年度に津別町堆肥製造施設が稼働したことにより、畜産農家に家畜排せつ物の同施設への搬入を促すことで、自家圃場への過剰散布の解消及び労働負担の軽減を狙う。

取組の内容

・畜産環境対策総合支援事業を活用して既存施設の一部を改修し、高圧通気システムを導入したことで、完熟堆肥になるまでの期間の大幅な短縮に取り組んでいる。

成果（見込み）

・完熟堆肥までの期間を180日から60日へ大幅に縮減でき、その結果、家畜排せつ物の受入量及び堆肥製造量が大幅に増加。畜産農家の自家圃場への過剰散布及び労働負担を減らしつつ規模拡大にも繋げることができる。耕種農家としては、堆肥を施用することで土壌改善が図られ、生産性向上につながる。

■作物

・小麦
・甜菜
・馬鈴薯
・豆類

■主成分の含有量（%）、特徴等

N	P	K	Ca	M	C/N比
1.2	1.0	1.0	0.9	0.4	19



■今後の課題・取組

課題

・施設の稼働開始当初より、電気代高騰及び混合する副産物（木皮）の値段の高騰によるJAの経営の圧迫。
・物価高騰（電気・燃料等）による耕種農家の買い控えによる堆肥販売数量の減少。

今後の取り組み

・耕種農家に対し、良質な堆肥をアピールし、化学肥料削減によるコスト低減への取り組みとした堆肥活用を推進していく。